

楽曲を担当した小田和正さんも登場！
名古屋鉄道オリジナル曲「この街」を題材にしたアニメーションを発表
“父と娘の心をつなぐ”スペシャルムービー
「大切な人が待つ場所へ。大切な想いを乗せて。」

2016年7月21日（木）より公開開始

<http://www.meitetsu.co.jp/files/ir/slogan/>

名古屋鉄道株式会社（代表取締役社長：安藤隆司／本社：愛知県名古屋市、以下、名古屋鉄道）は、“父と娘の心をつなぐ”スペシャルムービー「大切な人が待つ場所へ。大切な想いを乗せて。」を2016年7月21日（木）より公開開始いたします。（特設サイト：

<http://www.meitetsu.co.jp/files/ir/slogan/>）

名古屋鉄道は2011年より、「ココロをつなぐ、あしたへはこぶ。」をスローガンにお客さまと社員に向け、コミュニケーション施策を行ってまいりました。今回、新たな展開として2014年から使用している、小田和正さんが名古屋鉄道のために書き下ろしたオリジナル曲「この街」の世界観をコンセプトとした、アニメーションのWEBムービーを企画・制作いたしました。

本編では実際の名鉄電車や駅をもとにアニメーションが制作されており、名鉄の象徴・赤い電車、特急車両が描かれている他、楽曲を担当した小田和正さんが登場する1コマも用意されています。

思春期以来うまく話せなくなり、長年すれ違っていた父と娘の心が時を経て繋がる、あたたかいストーリーに仕上がりました。

今回のムービーを基に、TVCM（7/21より）および駅貼ポスター（8月上旬）の展開も予定しております。



■ 本編の見どころ

ポイント①小田和正さんがストーリーに登場

オリジナル曲を歌う小田和正さんがアニメーションの中で、キャラクターとして登場。主人公ミキの過去の回想シーンでギターを抱えて電車で揺られています。



ポイント②実存する駅や電車をモチーフに、環境音は実際のものも使用

今はもう走っていない懐かしいパノラマカーや名鉄の象徴・赤い電車、特急車両など、実際の名鉄電車や駅をもとにアニメーションを制作。駅は交通の要所である名古屋中心部や、そこからアクセスできる街をモチーフに描かれています。電車音や駅の環境音は、実際のものも使用しています。



■ WEBムービー概要

タイトル：「大切な人が待つ場所へ。大切な想いを乗せて。」

公開日：2016年7月21日（木）

URL：<http://www.meitetsu.co.jp/files/ir/slogan/>

制作：株式会社ロボット / 株式会社パインズ（アニメーション）

<コンセプト>

ふりかえって思い出すのは、特別な日ばかりではありません。あたり前にある毎日に、ふだんは気づかない大切なモノがたくさんつまっています。名古屋鉄道は地元の鉄道会社として、この街の人の、ささやかで、でもかけがえのない毎日に寄り添い、あたり前にある毎日を、あたり前にいつまでも支えつづけたい、と考えています。

その想いを、多くの人の心に寄り添うカタチで伝えたいと思いました。そこで、企業のスローガンである「ココロをつなぐ、あしたへはこぶ。」を起点に、小田和正さんのオリジナル曲「この街」の世界観でメッセージを伝える「父と娘の心をつなぐ」ストーリーを企画制作しました。

<ストーリー>

東京で暮らす主人公・ミキは、婚約者を紹介するため、実家に向かう。乗り継ぎの駅で、ホームにいる父娘を目にして、心に引っかかっている父との記憶を思い出す。「お父さんと、ちゃんと話すの、いつぶりだろう…」。

ミキの伝えられなかった想いを乗せて、電車は地元の駅へと走っていく。